

一般演題(ポスターセッション)

1日目 3月30日(土)

敬称略

会場	時間	番号	演題名	発表者
第1会議室	多職種連携と多職種共同(1) 【座長】医療法人拓海会 大阪北ホームケアクリニック・白山 宏人			
	13:30-13:40	A-1	地区三師会と自治体協同による多職種連携(医療コーディネーター設置)の試み	豊島区医師会・吉澤 明孝
	13:40-13:50	A-2	ケアプラン作成支援ツールの作成による医療と介護の連携促進	ハートケア・犬飼 順一
	13:50-14:00	A-3	荅北町地域包括ケアシステム構築に向けた多職種合同カンファランスの取り組み ～ワールド・カフェでアイデアを出そう!～	弘仁会 荅北クリニック・倉本 剛史
	14:00-14:10	A-4	粕屋在宅医療ネットワークの現状と今後の医療情報連携の在り方	原土井病院・原 祐一
	14:10-14:20	A-5	A郡地域における在宅医療を中心とした地域連携の課題	医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック・岸 由香
	14:20-14:30	A-6	「医療と介護の連携を深めるための基礎知識講習会」開催とその意義	あおぞら診療所・友松 郁子
	14:30-14:40	A-7	国立病院機構東埼玉病院(埼玉県一般枠)における「在宅医療連携拠点事業」	国立病院機構東埼玉病院・木村 琢磨
	自宅での看取りと終末期ケア(1) 【座長】医療法人社団慈風会 在宅診療敬二郎クリニック・三宅 敬二郎			
	13:30-13:40	B-1	在宅がんターミナル期の「つながり」を支える訪問心理面接の試み ケアチームにおける臨床心理士としての援助実践の事例研究一	東京大学教育学研究科・向後 裕美子
	13:40-13:50	B-2	在宅療養を望みながら病院で死亡した透析患者の一症例 -家族の立場によるcasuistica-	松並診療所・仲田 公彦
	13:50-14:00	B-3	地域の一般診療所との連携により在宅看取りを円滑に行えた1例	医療法人社団杉浦医院・杉浦 敏之
	14:00-14:10	B-4	自宅で看取った独居患者6例の検討	医療法人社団慈風会在宅診療敬二郎クリニック・三宅 敬二郎
	14:10-14:20	B-5	病院死となった在宅患者症例の検討	医療法人社団慈風会在宅診療敬二郎クリニック・三宅 敬二郎
	14:20-14:30	B-6	自宅で看取りを行うために～介護面から見えてくること～	医療法人 拓海会 神経内科クリニック・泉 朋代
	14:30-14:40	B-7	多職種連携の行動を評価する指標の作成—連携行動の自己評価—	日本赤十字看護大学・藤田 淳子
	自宅での看取りと終末期ケア(2) 【座長】医療法人コムニカ ホームケアクリニック横浜港南・足立 大樹			
	13:30-13:40	C-1	癌末期患者の胃瘻減量・中止に関する意思決定プロセスと経過	那須塩原クリニック・黒崎 史果
	13:40-13:50	C-2	生と死を医療から解放するための特別養護老人ホームでの施設看取り	北多摩クリニック・保坂 幸男
	13:50-14:00	C-3	当診療所で経験した訪問開始後100時間以内で亡なられた31例の医事的解析	村山大和診療所・藤田 亜紀
	14:00-14:10	C-4	教育的緩和ケアにおける実践を通して得られたケアの在り方の分類の試み	自治医科大学緩和医療講座・田實 武弥
14:10-14:20	C-5	グリーンケア実践を通してターミナル期にある患者家族の支援について考える	つばさクリニック・藤井 敬美	
14:20-14:30	C-6	日常的に医療処置を必要とする神経難病患者の独居生活をどう支援するのか	あおぞら診療所高知潮江・長野 真理子	
14:30-14:40	C-7	末期癌患者のQOLに対する作業療法の効果 ～プレゼントに託した母親としての思い～	コールメディカルクリニック福岡・坂口 聡子	
第2会議室	在宅医療の教育や取り組み 【座長】医療法人社団 隆仁会 秋田往診クリニック・市原 利晃			
	13:30-13:40	D-1	機能強化型在宅療養支援診療所の使い方	多摩市医師会・大池 ひとみ
	13:40-13:50	D-2	同一患者の継続診療による地域医療研修の取り組みと課題～小病院病棟から在宅へ～	舘田病院・吉田 伸
	13:50-14:00	D-3	在宅医療連携推進のための病院管理栄養士による居宅療養管理指導の取り組み	日本医療伝道会在宅医療連携拠点事業・大友 宣
	14:00-14:10	D-4	大学間連携教育の推進を目的とした多職種協働による在宅緩和ケア実習の試み	長崎県立大学・加藤 滋子
	14:10-14:20	D-5	在宅医療チームによる高齢者施設の感染症予防対策の支援 ～ 出前ノロウイルス・インフルエンザ予防教室の取り組み ～	ひらまつ在宅療養支援診療所・溝上 さつき
	14:20-14:30	D-6	訪問診療におけるダイナミクスとiPadをリンクさせたシステム	医療法人社団隆仁会秋田往診クリニック・市原 真希子
	14:30-14:40	D-7	たましいをつなぐ	秋田組合総合病院・桑原 直行
	介護サービスと介護連携 【座長】医療法人ゆうの森 たんぼクリニック・佐野 正浩			
	13:30-13:40	E-1	介護職から見た重症小児とその家族支援	小さなさんかく・小島 美智子
	13:40-13:50	E-2	東京都における介護施設の医療提供体制に関する調査	医療法人社団臈社会 西田医院・西田 伸一
	13:50-14:00	E-3	公的統計資料に基づく医療・介護体制の検討—充実した在宅医療・介護を行なうためには地域別の対策立案が必要である—	在宅療養支援クリニック楓の風・宮木 大
	14:00-14:10	E-4	介護支援専門員(ケアマネージャー)が主治医と上手に連携する方法とは? — 介護支援専門員に対するアンケート調査による考察と提言 —	船橋総合病院・星野 将隆
	14:10-14:20	E-5	要介護度が悪化した要支援高齢者の生活機能の特徴とその背景 -地域包括支援センター専門職員からの聞き取り調査より-	活水女子大学・井上 高博
	14:20-14:30	E-6	ショートステイにおける24時間電話相談対応の試み	那須塩原クリニック・黒崎 史果
	新しい取り組み(1) 【座長】つばさクリニック・中村 幸伸			
	13:30-13:40	F-1	重度心不全患者に対する訪問心臓リハビリテーションの取り組みと効果	公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院・諸富 伸夫
	13:40-13:50	F-2	在宅療養生活を事前にイメージ化するためのパンフレットの有用性	藤沢本町ファミリークリニック・田邊 かほり
	13:50-14:00	F-3	一般診療所における円滑な在宅診療支援のために～「おひさまネットワーク」の取り組み～	おひさまネットワーク・小網 景子
	14:00-14:10	F-4	在宅患者急変時の救急搬送をスムーズに行うために ～大阪市浪速区医師会のブルーカードシステムについて～	ふじよし在宅クリニック・藤吉 理夫
	14:10-14:20	F-5	「今、だからこそ自宅で看取る」という真意を伝える日自宅で看取りの普及に看取りのパンフレットが果たす役割～	医療法人ゆうの森 たんぼクリニック・一井 美哉子
14:20-14:30	F-6	カテーテル抜去に対する当院の取り組み	帝京大学医学部附属病院泌尿器科・医療法人社団風優会 あすかホームケアクリニック・永楽 美香	
14:30-14:40	F-7	在宅褥瘡の新たな取り組み	仙台往診クリニック・石川 奈津江	

一般演題(ポスターセッション)
1日目 3月30日(土)

敬称略

会場	時間	番号	演題名	発表者
第3会議室	在宅医療における診断と治療(1) 【座長】東芝病院 緩和ケア科・茅根 義和			
	13:30-13:40	G-1	胃瘻交換用内視鏡を用いた経鼻胃管交換手技 ～食道狭窄にて在宅での経鼻胃管交換が困難となっていた一例～	つばさクリニック・山本 昌幸
	13:40-13:50	G-2	在宅診療にて持続カテーテル留置にて腹水コントロールを行った一例	博愛会顕田病院・一ノ瀬 英史
	13:50-14:00	G-3	中咽頭癌術後の重度摂食・嚥下障害患者に対し在宅での食道入口部拡張訓練が著効した一症例	日本大学歯学部摂食機能療法学講座・熊倉 彩乃
	14:00-14:10	G-4	在宅漢方 生活を支える漢方	山口診療所・山口 竜司
	14:10-14:20	G-5	左慢性完全無気肺および気道出血を伴うALS人工呼吸管理患者に対し痰吸引指導を行った1例	医療法人社団榎会千城台クリニック・柿澤 公孝
	14:20-14:30	G-6	退院後に嚥下評価の再検が必要であった一例	医療法人かがやき総合在宅医療クリニック・熊谷 琴美
	14:30-14:40	G-7	腹水緩和における腹水ろ過濃縮再静注法(以下CART)の在宅での有用性	要町病院・要町ホームケアクリニック・吉澤 明孝
	在宅医療の実践(1) 【座長】つるかめ診療所・鶴岡 優子			
	13:30-13:40	H-1	在宅療養支援を目的に有床化した診療所の8年間:成果と課題	ろっこう医療生協・灘診療所・村上 正治
	13:40-13:50	H-2	在宅医療・看護時の室内温熱環境が身体へ与える影響の実態把握	オレンジホームケアクリニック・西出 真悟
	13:50-14:00	H-3	当院における緩和ケア研究会の活動について	大田病院在宅医療課・高岡 直子
	14:00-14:10	H-4	在宅および介護施設から入院した経口投与困難な肺結核患者に対する、INH静注およびSM筋注併用療法を用いた初期治療の有用性について	化学療法研究所附属病院・東 陽一郎
	14:10-14:20	H-5	東京都世田谷区における認知症初期集中支援サービスの構築に向けた取組み	医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック・遠矢 純一郎
14:20-14:30	H-6	鎌倉市近隣地域における高齢化の現状と、当院の診療体制の工夫と今後の方向性について	ドクターゴン鎌倉診療所・加藤 博孝	
14:30-14:40	H-7	ケアマネジャーを対象とした教育プログラムの効果に関する検討(第1報) 認知ケアマネ研究会入門コース受講者を対象にしたアンケート調査結果から 看護系と非看護系ケアマネジャーの比較検討	名古屋大学大学院医学系研究科・廣瀬 貴久	
在宅医療の実践(2) 【座長】もりおか往診クリニック・木村 幸博				
13:30-13:40	I-1	がん在宅医療のこれから～大学病院と在宅医療における癌治療の可能性～	帝京大学医学部附属病院泌尿器科・医療法人社団鳳優会 あすかホームケアクリニック・齋藤 恵介	
13:40-13:50	I-2	在宅医療における排尿障害に対する当院での治療経験	医療法人社団鳳優会 あすかホームケアクリニック・知名 俊幸	
13:50-14:00	I-3	鎌倉市の高齢化、訪問診療の現状	ドクターゴン鎌倉診療所・久島 和洋	
14:00-14:10	I-4	病院の訪問診療は安易な入院をさせているのだろうか	甲府共立病院・三井 いずみ	
14:10-14:20	I-5	在宅医療における緊急コールの分析～安心で効率的な緊急体制をとるために～	医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック・若林 英樹	
14:20-14:30	I-6	在宅療養患者の防災準備状況—防災に関するアンケート結果(介入前調査)	医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック・岸 由香	
14:30-14:40	I-7	クリニックへのコール内容から見た有料老人ホームにおける在宅療養支援の特徴	医療法人社団プラタナス 施設在宅医療部・平田 剛史	
第5会議室	口腔ケアと栄養管理、歯科連携 【座長】医療法人かとう歯科・加藤 弘正			
	13:30-13:40	J-1	在宅栄養サポートチーム(NSTZ)活動の展開 その1 病院型・直線的運営から在宅型・循環的運営への見直し	医療法人社団CMCコールメディカルクリニック広島・沖井 明
	13:40-13:50	J-2	在宅栄養サポートチーム(NST)活動の展開 第2報～スタッフの意識変化と今後の課題～	医療法人社団CMCコールメディカルクリニック広島・河原 晶子
	13:50-14:00	J-3	訪問歯科と施設の連携により高頻度な専門的対応が可能となった一症例 -都内某特養での摂食・嚥下リハビリテーションの取り組み-	日本大学歯学部 摂食機能療法学講座・三瓶 龍一
	14:00-14:10	J-4	在宅摂食・嚥下障害症例に対する歯科衛生士の役割 ～経口摂取再開が可能となった一例～	医療法人 岸川歯科・高島 都恵
	14:10-14:20	J-5	在宅栄養サポートチーム(NST)活動の展開 第3報～訪問栄養指導の取り組み報告と今後の課題～	ウオント吉島薬局・衛藤 彩
	14:20-14:30	J-6	言語聴覚士と管理栄養士、調理師の同時訪問による摂食・嚥下障害へのアプローチについて	一般財団法人 岩手済生医会 中津川病院・山崎 孝博
	退院支援とカンファレンス 【座長】医療法人ザイタックももたろう往診クリニック・小森 栄作			
	13:30-13:40	K-1	当院におけるデスカンファレンスとその変遷	医療法人社団CMCコールメディカルクリニック広島・佐々木 千穂
	13:40-13:50	K-2	急性期病院における在宅退院支援の課題と改善への取り組み	飯塚病院・柏木 秀行
	13:50-14:00	K-3	高齢者の在宅支援における退院前カンファレンスと看護師による多職種連携	独立行政法人国立長寿医療研究センター・大島 浩子
	14:00-14:10	K-4	多職種協働による京都府医療トレーニングセンター(京都府医師会)の新たな試み～退院前カンファレンスから看取りまで	渡辺西賀茂診療所・渡辺 康介
	14:10-14:20	K-5	在宅栄養管理のサポート体制構築に向けた研究	独立行政法人国立長寿医療研究センター・今泉 良典
	14:20-14:30	K-6	在宅医が国立病院病棟でデスカンファレンスを開きました	北多摩クリニック・保坂 幸男